

技能実習期間中の課外活動に関する取組事例 ①

平成30年度
調査結果

外国人技能実習機構

東京都 A 監理団体

【監理団体概要】

実習生の国籍・人数：ベトナム4名、モンゴル6名、ミャンマー10名
実習生の職種：建設、繊維・衣服、溶接

【ポイント】

- ✓ 地元のマラソン大会へボランティアとして参加することにより、地域に貢献するとともに、地域の一員として活動できたことで、日々の実習にも意欲が高まった
- ✓ 地元の様々な文化体験を通じ、方言を話すようになるなど地元馴染みとなり、実習実施者の社員とも良好な信頼関係が築けた

地元のマラソン大会へボランティアスタッフとして参加し、地域へ貢献

給水スタッフとして参加



写真①

「なまはげ変身」体験



写真②

竿燈祭り参加



写真③

傘下実習実施者のS社は地域への貢献を大切にしており、毎年、地元のマラソン大会に、社員有志がボランティアスタッフとして参加している。ベトナム人実習生も大会サポートユニフォームを着用し、給水スタッフとして大会運営をサポートした(写真①)。実習生からは、「雨の降る中でのボランティア活動だったが、楽しかった。次回からはランナーとして参加したい。」との前向きな発言もあった。実習生たちは、自分たちの実習実施者が地域に根ざした企業であることを理解し、自分たちも地域の一員として活動できたことで、日々の実習への意欲も高まった。

実習実施者の社員とともに地元の様々な文化イベントをすることにより、良好な関係を構築

寿司作り体験

秋田県の傘下実習実施者のF社は地元の様々な文化イベントを行っている。

平成29年3月入国のベトナム人実習生3名は当該企業に配属になった後、社員2、3名と共に、地元の文化紹介施設での「なまはげ変身」体験をしたり、竿燈祭りや地域の町内会主催の寿司作り体験に参加した(写真②③④)。

これらの体験等を通じ、実習生たちは地元の男鹿方言を話すようになるなど地元馴染みとなり、また、こうした取組により、社員と実習生の関係がとても良くなり職場での信頼関係も構築された。



写真④

富山県 H 監理団体

【監理団体概要】

実習生の国籍・人数：ベトナム35名、中国30名

実習生の職種：食料品製造

- 【ポイント】
- ✓ 地元の祭りへの参加を通じて、市民と交流することで、お互いを知る機会となっているほか、実習生の自発的活動の場にもなっている。
 - ✓ 入国後講習で仲良くなった実習生が実習期間中のバス旅行で再会し、旧交を温めるとともに、今後の実習への活力となっている。

実習生の屋台と調理した春巻



写真①



写真②

観光協会主催の祭りへの出店を通じ、地域交流をするとともに、達成感を得られた

富山県滑川市観光協会主催の「ベトナム・ランタンまつりinなめりかわ」は、ベトナムの古都ホイアンで行われるランタン祭りを参考にしたイベントで、毎年夏に開催されている。祭りには地元のグルメやベトナム料理の屋台などが並び、ベトナム民族音楽のコンサート、民族衣装の試着体験なども行われている。平成29年から、ベトナム人実習生の希望で祭りに参加することになった。祭りにはベトナム春巻き屋台を出店することになったが、監理団体のスタッフ、傘下企業のサポートのもと、実習生が主体となって計画を立て、メニューや仕入れの量などを決めた（写真①、②）。平成29年、30年は、各年10名の実習生が屋台の運営に参加したが、参加希望者が多く順番待ちとなっている。実習生が祭りに参加することによって、地域住民はベトナム料理を楽しめるだけでなく、実習生との交流も生まれるなど、実習生のことを知るよい機会となっている。また、実習生も地元に対する愛着心が生まれる上、自分たちで屋台を運営したという自信や達成感により、技能実習の意欲向上にもつながっている。

日帰りバス旅行での再会、実習意欲向上へ

実習期間中に1回、観光バスをチャーターして日帰り旅行を実施している。参加費は、監理団体と傘下企業の共済金により賄っている。入国後の講習期間中に仲良くなった実習生たちは、バス旅行で久しぶりに再会し、旧交を温めるとともに、お互い、今後の実習を頑張っていこうという意識を共有する機会となっている。

技能実習期間中の課外活動に関する取組事例 ③

平成30年度
調査結果

外国人技能実習機構

愛媛県 C 監理団体

【監理団体概要】

実習生の国籍・人数：ベトナム110名、中国92名、タイ3名、ミャンマー15名
実習生の職種：食料品製造、農業

【ポイント】

- ✓ 実習生が来日して最初に取り組むべきことを「日本語の習得」とし、実習生自らが日本語学習に取り組めるよう、積極的にサポート
- ✓ 実習生と実習実施者との交流会を開催することにより、職場ではなかなか話せない家族の話などもでき、お互いの距離が縮まり信頼感が増した

1. 辞書で調べて下さい。	辞書で調べて	辞書で調べて	辞書で調べて
2. 辞書で調べて下さい。	辞書で調べて	辞書で調べて	辞書で調べて
3. 地図を見てください。	地図を見てください。	地図を見てください。	地図を見てください。
4. トレーニングを受けて下さい。	トレーニングを受けて	トレーニングを受けて	トレーニングを受けて
5. この辞書を使って下さい。	この辞書を使って	この辞書を使って	この辞書を使って
6. OQを付けて下さい。	OQを付けて	OQを付けて	OQを付けて
7. OQ-OQの範囲で付けて下さい。	OQ-OQで付けて	OQ-OQで付けて	OQ-OQで付けて
8. OQを入れて下さい。	OQを入れて	OQを入れて	OQを入れて
9. 辞に製品をOQに入れて下さい。	辞に製品をOQに入れて	辞に製品をOQに入れて	辞に製品をOQに入れて
10. この内の製品をOQに入れて下さい。	この内の製品をOQに入れて	この内の製品をOQに入れて	この内の製品をOQに入れて
11. この製品をOQに入れて下さい。	この製品をOQに入れて	この製品をOQに入れて	この製品をOQに入れて
12. この製品をOQに入れて下さい。	この製品をOQに入れて	この製品をOQに入れて	この製品をOQに入れて
13. 製品をOQに入れて下さい。	製品をOQに入れて	製品をOQに入れて	製品をOQに入れて
14. 意味を理解してください。	意味を理解して	意味を理解して	意味を理解して
15. 製品をOQに入れて下さい。	製品をOQに入れて	製品をOQに入れて	製品をOQに入れて
16. 製品をOQに入れて下さい。	製品をOQに入れて	製品をOQに入れて	製品をOQに入れて
17. 長い物や短い物は付けて下さい。	長い物や短い物は付けて	長い物や短い物は付けて	長い物や短い物は付けて

写真①

母国語訳のみならず、地元の方言による言い回しも併記した単語帳



写真②

交流会で実習指導員とも打ち解けられ、実習でも良い効果が。

日本語能力検定受検の奨励、実習で使う日本語文例集の配布などにより日本語学習をサポート

年2回の受検に向けて、監理団体から実習生に対し母国語で案内文を送付し、受検申込のサポートをしている。また、監理団体で検定の問題集を購入して配布するほか、プラスアルファの教材として、実習生の母国の日本語教材を購入し、本人のレベルに合わせて配布している。さらに、実習で使う日本語は実習実施者によって異なるため、監理団体が実習実施者ごとに文例集を作り、それには母国語の翻訳のみならず、地元の方言の言い回しも載せ、実習生に配布し、スムーズに実習が行えるようサポートしている(写真①)。

実習生の発案による交流会の開催で親睦を深めることにより、職場においてもお互いの信頼が増す

料理を前に挨拶

ベトナム人実習生が、実習実施者に対する日頃の感謝を込めて、母国の料理を作り交流会を開催したいと発案し、監理団体職員も準備や通訳などでサポートし実施にこぎつけた。

実習実施者の専務が料理の味を褒めると、実習生はとても喜び、母国の文化に誇りを持つことができた(写真③)。

また、交流会に参加した実習生からは、実習指導員との親睦を深めることができ信頼感が増した、互いの文化を知る良い機会となったなどの感想があった(写真②)。

このように交流会の開催により、社員と実習生の親睦を図ることができ、互いの文化を知る機会にもなっている上、職場での雰囲気良くなるなどの効果も出ていることから、平成30年に始まった交流会を今後も続けていこうと考えている。



写真③